

図1 畑の準備

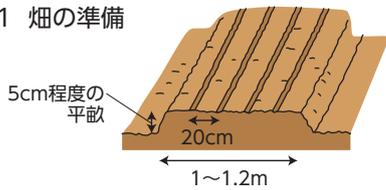


図2 間引き

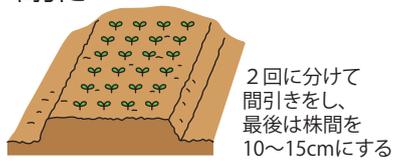
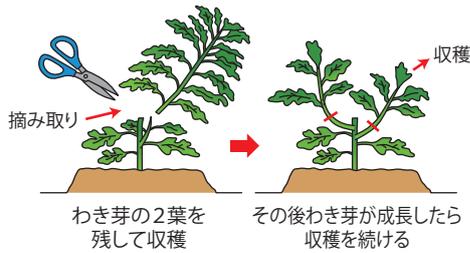


図3 摘み取り収穫



シュンギク



と完熟堆肥1〜2kgを土と混ぜ、図1の
よつな平畝を作ります。

〔種まき〕

シュンギクは春(3〜6月)と秋(9〜11月)
が栽培適期です。カロテンの含量が多く、ビ
タミンC、カルシウム、鉄分なども豊富です。
〔品種〕
葉が大きく切れ込みは浅く、えぐ味が少な
い「おたふく春菊」(中原採種場)、「菊之助」
(タキイ種苗)のほか、切れ込みがあり香りが
強く、株立ち型の「さとゆたか」(サカタのタ
ネ)、「きわめ中葉春菊」(タキイ種苗)、株張り
型では「菊次郎」(タキイ種苗)などがあります。

〔間引き・追肥〕

発芽後、本葉2枚までに3〜4cm間隔に
間引き、株元に軽く土寄せします。この後
本葉5〜6枚の頃に、10〜15cm間隔に間引
き、1平方m当たり化成肥料50gを株元
ばらまき、土寄せします。

〔収穫〕

株立ち型品種は葉を4〜5枚残し収穫
するとわき芽も収穫でき
ます。株張り型と大葉種
では草丈20〜25cmで株ご
と抜き取るか、株元から
刈り取ります。

定植後に行う管理



1番花のすぐ下の脇芽は残し
あとは取り除きます。

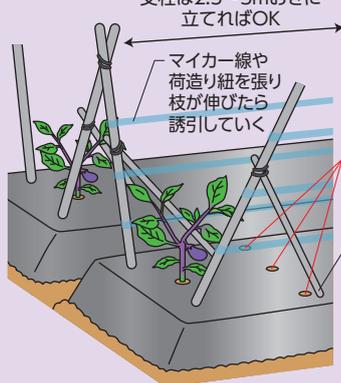


マルチに接している葉も取り
除く(葉を伝ってハダニなどの
害虫が土から上ってくるため)



誘引することで
日当たり良く

■ひも誘引



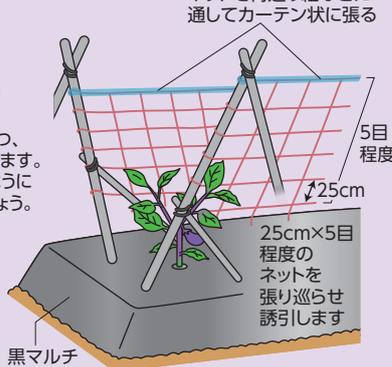
支柱は2.5〜3mおきに
立てればOK

マイカー線や
荷造り紐を張り
枝が伸びたら
誘引していく

苗と苗の間の
マルチに穴を開け
6月下旬から
NK808を少量ずつ、
10日に1回追肥します。
追肥が浸透するように
水を必ずやりましょう。

両端の支柱は
荷重がかかる
ので支えを
入れて補強
するとよい

■ネット誘引



ネットを荷造り紐などに
通してカーテン状に張る

5目
程度
25cm×5目
程度の
ネットを
張り巡らせ
誘引します

黒マルチ

なす太郎の ポイント指南

今月は

定植後の管理と支柱立てです。

支柱立てと誘引準備

なす出荷農家は毎年、仮支柱や
支柱など使用する資材は消毒を
行ってから使います。青枯れ病な
ど土壌病害対策として必須です！
資材消毒については、JAのグ
リーンセンターなどで相談して
みてください。

支柱立てと誘引準備
根を傷めないように、定植と同
時にイボ竹やパイプを使って支柱
を立てます。
誘引方法はネット誘引またはひ
も誘引がおすすです。